

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原市中央区清新6丁目PJ	階数	地上2F
建設地	相模原市中央区清新六丁目82番1	構造	S造
用途地域	第2種住居地域、準防火地域	平均居住人員	150人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店、集会所、工場、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年9月 予定	評価の実施日	2020年1月12日
敷地面積	2,386㎡	作成者	大和ハウス工業(株)厚木支社建築一級建築士事務所
建築面積	1,681㎡	確認日	2020年1月15日
延床面積	3,241㎡	確認者	大和ハウス工業(株)厚木支社建築一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

##### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.9

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.6

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
近隣のまちなみに配慮し低層計画とした		
<b>Q1 室内環境</b> 室内に光を取り込む開口部に配慮	<b>Q2 サービス性能</b> 室内環境のゆとりに対応	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b>
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 発泡系断熱材は不使用	<b>LR3 敷地外環境</b>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される